

## 令和7年度伏見区基本計画推進区民会議 会議録

日 時 : 令和8年2月24日(火) 午前10時～11時

場 所 : 伏見区役所1階ホール

### 1 議 題

伏見区基本計画2025(R3～R7)の総括等について

### 2 議事内容

議題 伏見区基本計画2025(R3～R7)の総括について

事務局 < 資料1に基づき、「伏見区基本計画2025(R3～R7)の総括」について説明 >

事務局 < 資料3に基づき、「区基本計画期間の終了に伴う区民会議の廃止」について説明 >

※資料2、資料3は補足資料のため、説明省略

村井委員 防災の件でお伺いしたい。中学校に統合され廃校となっている旧小学校について普段使われていないため清掃等の管理が不十分。避難所としての役割を果たす際に、すぐに機能できるか疑問がある。階段のタイル等も損傷していた。使用料を徴収すれば、修繕に対応できるのでないか。

事務局 旧小学校は避難所としても使う場所であり学校施設であるため教育委員会とも協議が必要。適切な管理の方法等について話をしていきたい。

加藤委員 伏見区では、活発な住民の活動が行われているが、それを支援する形で区民活動支援事業が展開されている。さらなる活性化を目指し、令和7年度に新しい枠組みである「チャレンジ・スタートアップ枠」が新設された。これが区民活動のニーズにマッチし、申請43件のうち「チャレンジ・スタートアップ枠」が28件、採択された36件のうち同枠23件と反応があった。全国的に自治会加入率が落ちている状況の中で、住民の主体的な意欲を引き出していくため、さらに取り組んでいく必要がある。区役所において、交流会を実施したところ、採択団体含め50名が参加された。枠を超えて繋がっていくことで、活動の活性化に繋がったのではないか。今後も、住民・区民が主体的に力を合わせ、人が大切にされるまちづくりを進めていくことを願っている。

村井委員 自治会への加入者数が減少していることについて、懸念している。現状、転入者の同意を得られた場合に自治会に情報共有していると聞いている。個人情報等の課題もあるかもしれないが、自動的に自治会に情報共有する流れを作ることはできないか。自治会独自の取組等について案内しようとしても対応できない。転入者の情報を共有する仕組みづくりをお願いしたい。

- 事務局 個人情報の問題、自治会は任意加入、といった状況もあり対応が難しい面もあるが、市民しんぶん等で各自治会の取組等を紹介している。今後も前向きに自治会の情報を発信していく。
- 高橋委員 町内会の必要性は理解したうえで、担い手の高齢化もあり対応が難しいという地域の現状がある。若い世代が入ってくると状況は変わってくるが、子どもを地域のイベントに参加させたいと新しく町内会に参加されるケースがある。今後も地域の魅力を向上し、担い手づくりに繋がる対策を考えていかなければならない。
- 河邊委員 会議等の開催される時間帯や回数が多いことにより、働いている世代や若い世代が地域活動に参加しづらい状況があり、改善しなければ担い手不足が解消されない。伏見区役所の考えを伺いたい。また、区 Hub の具体的な取組についてお伺いしたい。
- 事務局 様々な地域活動での担い手不足については、特効薬はない状況であるが、文化市民局で市民活動の好事例やアイデア、取組等を紹介している。個別事例への対応は区役所の役割と考えているため、ご相談いただきたい。また、区 Hub については今年度、すべての人に「居場所」と「出番」のあるまちづくりに向けて多様なつながりを作るためスタートした取組である。今年度区役所では、地域活動の主体が集い、つながれる場として、ロビーにサロンスペースを設置した。区 Hub では、これまでの区役所の役割をより意識的に進めていきたい。
- 西庄副座長 先ほど説明のあった「伏見区基本計画」の総括において、多くの成果も見られた一方で、少子高齢化や自治会加入率の低下により、地域活動の担い手が不足し、また、地域が抱える課題も複雑化している。こうした課題に対しては、我々区民が積極的に市政に関わり、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という自治意識や、多くの主体がつながりを深めることで、協働して取り組むことが重要ではないかと考えている。伏見区基本計画が今回終了するというので、この会議も同様に役目を終えることになるが、委員のメンバーは、今後も様々な場で行政と関わる機会があるかと思うので、そうした意識をもって共に取り組んでいただければと思う。そして、行政には様々な分野でパイプ役となり、地域の課題やニーズの声を受けて止めながら、支え合いの社会を作り上げるために汗をかいていただきたい。
- 事務局 先ほどの資料3「区基本計画期間の終了に伴う区民会議の廃止」について補足させていただく。区基本計画については今回で終了となるが、今後、各区役所・支所において、まちづくり運営方針を策定させていただく。様々な機会において策定に向けた意見を頂戴したいと考えているのでご協力をお願いします。
- 橋爪座長 本会議は第3次基本計画の進行管理の場として、第1期・第2期と同じく基本計画を策定し、ともに議論する場として設けられた。2001年からの25年間の京都市基本構想の中で、各区で基本計画を策定した。2001年当初は各区の中で若い世代が最も多かった時期であったが、急速に人口が増え、その後に高齢化が進んだ現状があり、少子高齢化の中で新しい取組を進めていかなければならない。これまで総合庁舎への移行、水垂処分場、大岩街

道等の環境面の課題、コロナの問題、水害対策のハザードマップなど、様々な課題について委員の皆さまと議論する場を設定してきた。計画の行程管理だけではなく、この会議から新たな動きが始まったこともある。今後も区役所で地域連携の場を継続して設けていただきたい。伏見区の人口は約27万人と、他都市でいえば中核市相当となる規模であり、区役所・支所で大きく3つのエリアに分かれているが、地域それぞれに個性あるまちづくりを進めていただければと考えている。区民会議は終了するが、これまでの委員の皆さまの尽力に御礼申し上げるとともに、今後とともに協力し、まちづくりを進めることができると考えている。